

8月号

School Aid Japan

スクール・エイド・ジャパン

Dream通信

2013. 8. No. 65



自分の可能性を広げるために ～日本語授業の新規クラス開設～



一人ひとり発音の練習

皆さん、こんにちは。日本では猛暑が続いている季節かと思えます。カンボジアでは夕方にスコールがありますが、昼間は毎日35度を超えています。スコールの後には暑さも和らぎますが、子どもたちの中には急な温度変化についていけず、風邪を引いてしまう子もいます。

さて、今回のDream通信では、新たにクラスを編成した日本語授業、裏農園で収穫したとうもろこし、そして7月から働き始めた日本人職員の紹介の3つをお伝えします。

日本語授業

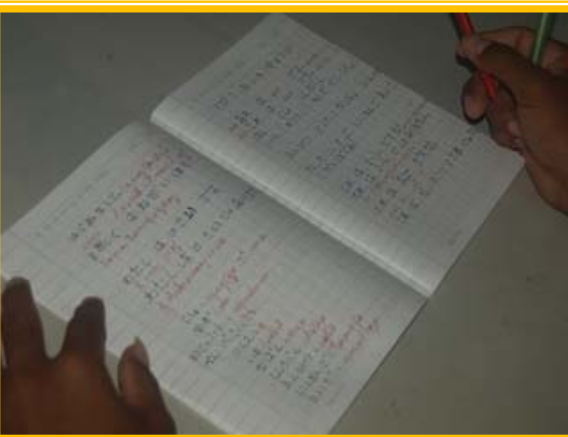
今まで、日本語授業を受けている子どもは全部で13名いました。しかし、その他の子どもたちから何度も「日本語の勉強がしたい」「新しく授業に参加したい」と要望があり、今回、新たに日本語授業の新規クラスを編成することにしました。まず新たに日本語を勉強したい子どもたちの希望をとると、次から次に手が挙がり、なんと30人前後の子どもたちが集まりました。しかし、これでは人数が多すぎて1クラスに収まりきりません。そこで、日本人職員で話し合い、『中学生以上に限定し、直近3ヶ月の学校での成績がクラスで半分以上であること』をルールとしました。つまり、学校の授業を疎かにせず、日本語の勉強も中途半端にすることの無いよう、継続して努力出来る子に限定して受けさせよう、と決定しました。

新たに日本語を教わる子どもたちには、「あいうえお」の五十音を覚えさせ、授業に入る前に試験を受けてもらいます。五十音を全て覚えていた子のみ、授業を受けることができます。しかし、成績の悪い子や小学生の中にも勉強したい意思を持っている子が多く、その気持ちを無駄にしないためにも、今後は簡単な会話授業の企画等をしていきたいと考えています。

カンボジアで働くには、第2、第3の言語が必要不可欠です。英語、仏語など様々な選択肢のある中で、日本人のいる孤児院で暮らす機会を十分に活かし、是非日本語を習得し、将来、安定した収入のある暮らしを送れるようになって欲しい、と心から思います。



ノートを取りながら先生の説明を真剣に聞く



綺麗にノートを取ったら後で復習

とうもろこし収穫！

裏農園で今、最も人気のある農作物は「とうもろこし」です。

クメール正月後に種を植えてからのおよそ1ヶ月間、子どもたちは日中には40度にもなることのある乾季の暑さの中、毎日一所懸命に水遣りや除草に励んできました。また、雨季に入った後も、大雨や風でとうもろこしが倒れてしまったり、虫に食いつぶされてしまったりと、様々な問題を乗り越えてようやく収穫までたどり着きました。手塩にかけて育ててきた、そして大好きなあまーいとうもろこしの収穫とあって、子どもたちにも自然と笑みがこぼれます。収穫した大量のとうもろこしは、子どもたち自身で塩茹でした後、夕方の食卓に並びました。カンボジアのとうもろこしは、茹でるとモチモチとした食感で、日本のものほど甘くはありません。しかし、子どもたちは普段食べられないおやつを前に、とても嬉しそうでした。中には1人で5本も食べる子がいて、皆の喜びが伝わってきました。

子どもたちには、農業を通して忍耐力を養い、達成感を学び、「雨ニモマケズ、風ニモマケズ」まっすぐに空を目指して伸びるとうもろこしの株のように、自らの目指す目標に向かって、辛い時も苦しい時も、逃げずに真っ直ぐと見据えて、努力出来る大人に成長して行って欲しいと思います。

新職員紹介

皆さん、初めまして。7月1日より、園での勤務をさせていただきます。玉本夢実（たまもとゆめみ）と申します。

園での生活は、日本とはまったく異なる環境の中にあり、大変なことも多いですが、その中で明るく、たくましく生きている子どもたちから日々色々なことを教わっています。

私の夢は、ひとりでも多くの子どもたちが、教育を受けられる、夢を見られる世界を実現するために働くことです。「夢追う子どもたちの家」で働くことは、4年前、入社したときからの目標でした。

私の考える教育とは、家族のような温かさ、愛情の溢れる中で実現すると思っています。例えば、何気ない会話の中から、彼らの可能性と一緒に探ること、してはいけないことをした時に心から叱ることなどです。勉強ができるだけではなく、子どもたちが自ら描いた夢の実現を目指し、自立した人間となって社会に出て行くことの出来るよう、精一杯力を尽くしていきたいと思っています。

今後、自ら積極的に子どもたちに関わり、子どもたちの将来と一緒に描いていく中で、共に一步一步成長していきたいと思っています。子どもたちへの接し方は、まだまだ難しく日々勉強させていただいていますが、どうぞよろしくお願いいたします。



1本1本丁寧に収穫！



収穫の喜びをかみしめながらニンマリ



1人で5本以上も食べる男の子の姿も・・・



どうぞよろしくお願いいたします。